

子で読書する機会を推奨する活動を展開した。

問 「高浜カリキュラム」作成の進捗状況について。

答 小学1年生の生活科で、入学してくる年長児を秋祭りに招待し、一緒に楽しむ学習活動を行う。小学6年生の総合学習で、地震や津波に備えて学区のマップを作製し、自分の命は自分で守るという意識を育てています。

問 高浜幼稚園の認定こども園化と民営化について。

答 給食施設の課題で、平成28年度からのこども園化を見送る考えです。

給食の提供方法や施設の利用範囲、セキュリティ面など、高浜小学校校舎との施設の複合化の状況に大きく影響される面があり、運営にあたっては、民営化も一つの選択肢と考えます。

問 高取幼稚園・高取保育園の民営化と認定こども園化について。

答 高取幼稚園と高取保育園を統合し、高取保育園に隣接する市有地に新しい園舎を建設。具体的な内容は、募集条件を踏まえ、事業者から提案をいただき、採用された事業者と協議して進める。子ども・子育て支援事業計画で、平成30年4月の開園を目指します。



浅岡 保夫 議員

平成28年度予算編成にむけて
市政クラブ政策提言について

問 東部地区工業用地と北部地区工業用地取り組み状況と考え方について。

答 東部地区は、3月に地権者全員の開発同意を得まして、関係機関と早期事業着手に向け協議・調整を進めている。北部地区は、10月に土地所有者に意向調査を実施した。その結果を踏まえ、整備構想を描いてまいります。

問 市としてコミュニティ・ビジネスへの支援の今後の展開について。

答 今後は解決する「テーマ」を定め、チャレンジャーを募りたい。次年度取り組むテーマを「自らの事業によるまちおこし」をテーマとして考えており、他の地域にて新たな価値観を見つけ、先輩起業家を迎え、ともに考え、学んで、動く完全伴走型支援を行っていく。

問 今後の観光行政に対する高浜市の方針について。

答 観光協会の活動範囲の拡大や様々な情報の発信効果が徐々にできてきていると考えており、高浜市の祭りなども市外の観覧者やメディアにも注目されている。これらは観光協会をはじめ、市民や関係団体の活動の結果であると見え、今後も活動を支援していきたい。

問 環境美化推進委員の登録で、小中学校等への支援策が必要と考えるが。

答 不法投棄対策に取り組み子どもたちには必要な資材を提供し、清掃活動を行う子どもたちには、ごみの搬出に使う車両の貸し出しを実施している。そのことにより、参加率の向上ができると考えています。

問 今後の衣浦大橋東交差点の高架事業について。

答 県では、平成30年の立体部の供用開始を目指している。また、高浜から半田方面では、衣浦大橋南側に1車線分の橋（左折専用橋）を、平成32年頃の完成を目標に架設し、橋梁の上は三車線化が図られるとのこと。



平成28年度予算編成にむけて
市政クラブ政策提言について



杉浦 康憲 議員

問 地域の实情に合わせた防災資機材の点検・配備について。

答 町内会、まち協のご意見をいただき、レスキューセットや折りたたみリヤカー、消火器などを配備しております。また、町内会が防災倉庫を新設する際には、補助金を支出させていただいております。

問 子どもも含めた地域防災意識のさらなる向上について。

答 子ども防災リーダー養成講座は、高浜の防災を考える市民の会が、高浜市の将来を担う子どもたちをターゲットとして、防災・減災に対する関心・理解を深めるために取り組んでおられます。

問 消防団をどう位置付けていますか。

答 今後、発生が危惧されております南海トラフ巨大地震などの大規模災害時などにおいて、